



第 120 号

# 慈 光

社会福祉法人遠州仏教積善会  
 救護施設 慈照園  
 静岡県浜松市中区鴨江3-4-3  
 TEL 053-452-3069  
 FAX 053-452-3074  
 URL <http://jishoen.jp>

## 「新しい日常に対応し、安心して生活できる施設へ」 社会福祉法人 遠州仏教積善会 園長 左右田雅子

日頃より、社会福祉法人遠州仏教積善会および救護施設慈照園の運営につきまして、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の対応を迫られる状況となっております。当施設におきましても、マスク着用、手洗いや消毒の徹底、外出や面会の中止、日課行事の変更や中止などの対応をいたしました。

一時入手困難であったマスクや消毒液など、各方面より心温まるご寄付をいただきまして、深く感謝申し上げます。今後は、第2波に備え新しい生活様式を取り入れ、少しでも安心安全で快適な生活を送れるよう、創意工夫していきます。

慈照園は、ご利用者が安心して生活でき、就労や地域移行などの自立への希望や目標に向かって生き生きと輝けるよう、自立更生を支援する施設を目指しております。このような状況下ではありますが、今年度も、個別支援計画の充実や運営委員会等による組織運営体制の強化、地域移行支援・地域貢献活動の強化、職場



環境改善・離職率の改善に積極的に取り組んでまいります。

また、昨年度より引き続き赤い羽根福祉基金「救護施設等のセーフティネット機能強化助成事業」の助成をいただき、精神障害者の地域移行と自立生活の継続支援に向けた事業にも取り組んでおります。

地域の皆さまにも安心していただける施設となるよう、職員一同努力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



4月の観音供養の様子。メイン会場（ロビー）、サブ会場（食堂）に分け密集を防ぐ対応をしました。サブ会場（食堂）は導師の映像をスクリーンに映写しています。

退園者から  
 お便り

## 退園して1年 「慈照園の経験が生かされました」

西好子さんが昨年の4月に慈照園デイ(通所サービス)を卒業し、1年が経ちました。今は市内のB型作業所に通勤しています。作業所施設長の評価も高く、作業賃金+障害基礎年金で生活できるようになりました。(生活保護は廃止中です。)

「慈照園の内職で経験した箱折が今、生かされています。4月からお給料も少し上がりました。」と嬉しそうに話してくれました。

慈照園では、地域への公益的取り組みとして、生活保護が廃止された退園者も、無償でフォローをしています。金銭管理の状況、服薬状況を確認、場合に

よっては受診同行に出向くこともあります。

障害者総合支援法の計画相談がある方は、サービス管理責任者とも連携し、退園者の生活を見守っています。



菓子の箱折を任されています。